

NPO第一回地域防災・防犯会開催

NPOでは、地域課題の解決を目的として「エリアマネジネット」を開催していますが、この中では「地域防災活動」の重要性が議論され、今後取り組む課題として合意されています。

これを受け、具体的な防災活動の企画・立案・推進を図るために「防災ワーキング」を立ち上げ、七月二十四日に第一回の打合せを行いました。当日は、各マンションの防災への取組みを情報共有したり、災害に対する基礎知識を共有する企画案や、継続的な啓発活動の必要性などについて活発に議論されました。

今後、連絡会議や理事会等を経て具体的な活動計画を練り、みなさまに改めてご報告します！



お昼は、平和館テラスで楽しい昼食をしました。

六月二〇日(日)子供たちが約半分の総勢三四名が、「こすぎこども探検隊」に参加しました。

一同揃って、朝一〇時過ぎに平和館に行き、戦争の被害写真など、平和を願う出展物などを見学しました。見学が終わってからは、平和館のすぐ横の二ヶ領用水で、ザリガニ釣りがはじまりました。

小川の中に入って大きなザリガニも釣れて、子供たちは大喜びです。

ザリガニ釣りとお昼見学

「こすぎこども探検隊」だより

八月の子ども探検隊はお休みです

猛暑の七月二十四日(土)リエトプラザで、三〇組超の親子の参加により、こども探検隊は、竹を使った水鉄砲作りに挑戦しました。

涼しいリエトプラザ内で親子で、竹筒に水を出す穴を開けたり、水を押し出す芯を布と竹棒で作ったりと、楽しみながら、苦心して、水鉄砲作りをしました。



中原区エコカフェ

第4回

環境問題を気軽に、楽しく、知り、学び、お話しいただく場とし、**8月29日(日)10時~15時** 中原区役所玄関前広場 雨天中止に「中原区エコカフェ」をオープン致します。

(スターバックスコーヒー協力) マイタンブラー/カップをご持参いただいた方、先着百名様にオリジナルグッズプレゼント。その他、新鮮野菜の即売会「かわさきそだち野菜市」、フリーマーケット、緑のカーテン交流会(皆で育てたゴーヤを食べて地域の交流を深めよう・小皿/箸/コップは各自ご持参)、打ち水大作戦(中原区STOPヒートアイランド事業・なかはら打ち水大作戦の一環)を予定しています。

問合せ・申込 中原区役所企画課 TEL 744-3149

“まど・みちおえ展”

於：川崎市市民ミュージアム
開催：平成22年8月21日(土)~10月3日(日)

「ぞうさん」「1年生になったら」など多くの詩で知られる”まどみちお”さんは今年100歳を迎えました。

山口県生まれで昭和21年から川崎市在住、川崎市文化賞も受賞するなど川崎にゆかりの深いまどさんは、詩や童謡の他にも絵を描き、今もすてきな作品を生み出しています。

まどさんの100歳祝い記念の展覧会が8月21日から等々力の市民ミュージアムで開催されます。この機会に、ご覧になられてはいかがでしょうか。

招待券希望の方はエリアマネジメント事務所までご連絡下さい、先着20名様に差し上げます。

TEL 044-433-9180 リエトプラザI

暑い外で、水鉄砲を使って楽しい水遊びです。遊んだ後は、楽しみにしていたカキ氷をおいしく頂きました。

広報 村松
住みよいまちづくりの為に広報活動の担当をします。どうぞ、よろしく願います。

長らくお世話になった三島事務局長が退任され、新たに三名のスタッフが引継ぐことになりました。

「こに、ご挨拶させていただきます。」

事務局長
橋本 スタッフと協力し未
来あるこどもたちのためにま
ちづくりに参加します。よろ
しく願います。

経理&総務
飯山
一日も早く仕事に慣れ、皆さまのお手伝いが少しでもできるように頑張りたいと思いま
す。

中原街道22

昭和四六年に発行された「中原街道小杉から久末までをたずねて」を参考とした歴史研究を基礎に掲載しています

西明寺・川崎中原七福神(大黒天)

西明寺は、「川崎中原七福神」に数えられる立派な寺院で、長い参道を通って仁王像をくぐった境内はとも広く、本堂には「大黒天」が奉られています。

「大黒天」は、インドの神様で、打ち手の小槌を持ち、米俵を踏まえ、柔軟な顔立ちをしています。



西明寺の大黒天

比寿神は波の上に立ち、右手を高く差上げ、左手に大きな鯛を抱える特色ある高さ五〇センチくらいの像です。

真言宗・東樹院にある毘沙門天は毘沙門堂の厨子に納められている極彩色の五〇センチほどの像で、その堂の前には、それを模した、りりしい毘沙門天の石造が建っています。

本堂のほか、橋のかかった池なども有し、静かなたたずまいとなっています。

福徳円満・財富の神様で、「勤労は徳」と説き、事業繁栄に御利益があると言われています。

西明寺池の中の財弁天を祀る宝篋印塔

真言宗・宝蔵寺には弁天堂に祀られた弁財天があります。



西明寺 本堂

川崎中原区には、歴史のある格調の高いお寺が多くあります。

その中で、由緒ある代表的な真言宗のお寺七つが有する、それぞれ代表的な七つの福神を川崎七福神と呼んでいます。

真言宗・安養寺の福祿寿は一般のもののように長頭短身ではなく、頭はそれほど長くない、普通の身長で椅子に座った像です。

真言宗・無量寺の寿老人は寺の号の長寿院にあやかって祀ることになったとのことです。

川崎七福神について
古くは平安時代から、個別的に福の神を信仰する土壌がありました。室町時代頃に七福神信仰が生まれ、家康以降、庶民の七福

ここに述べた真言宗西明寺(号・龍宿山金剛院)に安置されている大黒天は、一木造りで、俵の上に立ち右手に打ち出の小槌を、又、袋を肩にかけて左手で持つ姿は傑作で、鎌倉時代の木食・観世上人作と伝えられています。

真言宗・大楽院にある恵

真言宗・大楽密寺には、本堂内の右手に、丸っこいユーモラスな顔と姿の数体の布袋尊が安置されています。

以上が川崎七福神についての大きな説明です。